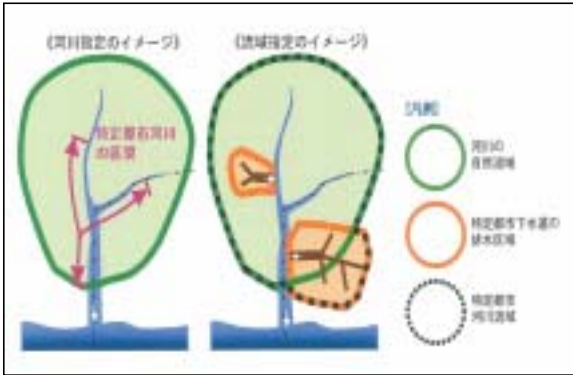


# 参 考 資 料

## 特定都市河川等の指定



## 特定都市河川流域における規制等

宅地等以外の土地で行う一定規模(1,000m<sup>2</sup>)以上の雨水浸透阻害行為(土地からの流出雨水量を増加させるおそれのある行為)は都道府県知事等の許可が必要。  
 都道府県等の条例で500m<sup>2</sup>以上1,000m<sup>2</sup>未満で別に定めることができる。

### 許可の対象となる雨水浸透阻害行為

許可の対象となる雨水浸透阻害行為として以下の4つを規定。

- 1) 「宅地等」にするために行う土地の形質の変更

**「宅地等」以外の土地(流出係数 小)**

山地、林地、耕地、原野、締め固められていない土地

雨水浸透阻害行為

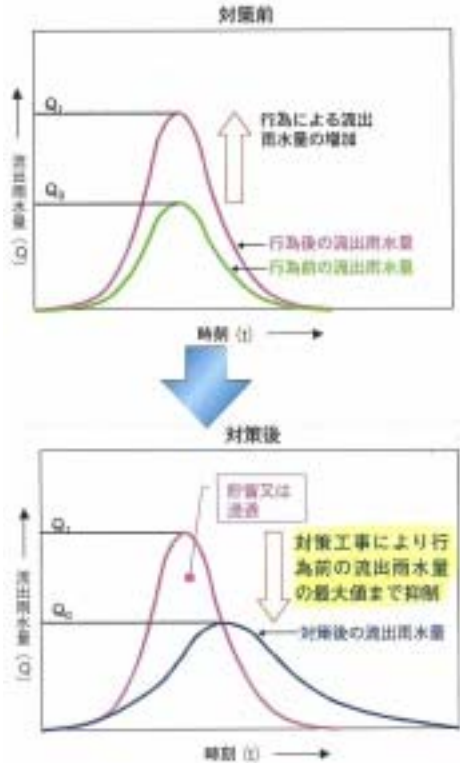


**「宅地等」に含まれる土地(流出係数 大)**

宅地、道路、水路、鉄道線路、飛行場等

- 2) 土地の舗装 (例) 農地の舗装駐車場への改変
- 3) 排水施設を伴うゴルフ場、運動場等の設置
- 4) ローラー等により土地を締め固める行為

**【対策工事の考え方】**  
 雨水浸透阻害行為後の流出雨水量の最大値(図のQ1)を、貯留又は浸透により行為前のレベル(図のQ0)以下に抑制すること。



**【保全調整池に係る行為の届出】**  
 ・既存調整池の埋立行為の届出義務、必要な措置の勧告。

